

日刊

THE NIKKAN

工業

KOGYO SHIMBUN

新聞

3月17日 水曜日

2021年(令和3年)

富山・立山町に新工場



立山工場の完成予想図

コンチネンタル 板金加工増強

【富山】コンチネンタル(富山市、岡田幸雄社長、076・478・2324)は、立山工場(富山県立山町)を新設する。板金加工を手がけ、手狭になっていた本社工場の工程と設備を一部移管し、余裕のある作業場所を確保する。また、新工場に自動化設備を取り入れて、作業の合理化を進め、2〜3割の生産能力の増強を見込む。事業費は約5億円。

新工場は鉄骨造の2階建て、延べ床面積は2136平方メートル。本社工場から3キロほどの

新工場は主に抜き加

工を担う。鋼板を半製品の状態にまで機械加工してから本社工場に移し、本社工場で曲げ加工をして仕上げる。現在はこれらの工程を本社工場で完結しているが、業容拡大に伴い手狭になり、作業のために仕掛品を建屋から一度外に出す手間がかかっている。工場新設でこの無駄をなくし、生産工程での物の動きを整流化する。

新工場にはレーザー加工機のパレットチェンジャーを導入。夜間のレーザー加工機の自動運転を実現し、工場の24時間稼働を可能にする。ITで使用する鋼板を管理するシステムも採用する予定。加工する鋼板を棚から取り出す際は、作業者がタブレット端末で材料を検索すると、保管している棚をランプで光らせて知らせる仕組みを構築。材料の準備を効率化する。

コンチネンタルは鋼板を使用した工作機械カバ、電気機器の筐体、建材などの製作を手がける。岡田俊哉専務は工場新設について「これらを活用して次の発展に結びつきたい」と意気込みを語っている。